紙技 Light シリーズ #N501

マイネ 40

～1等寝台車・補助取扱説明書～

⚠ 楽しい模型作りのために (安全に関する注意) ⚠

- **本キットは製品の性格上組み立て作業に鋭利な刃物や化学薬品、小さな部品を使用します。不慮の事故を防ぐためにもこの取扱説明書を最後まで必ず読み、手順を十分に理解してから製作に取りかかってください。**
- **特にけがなどを防ぐために、お子様がキット制作を行なう場合は必ず大人の方と一緒に行い、誤飲・けが等のおそれのある小さいお子様の手の届かないところで作業・保管を行ってください。**

- も く じ -

1.はじめに

この補足説明書は、共通説明書を補完するものでより詳細なデータが記載されています。なお巻末に型紙を再発行する場合に必要な手続きの手順が書かれていますのであわせてご覧ください。

●本キットに付属するもの

このキットに付属しているものは以下の通り。

- 共通取扱説明書 1冊 共通組み立て説明書
- 補助説明書 (この冊子) 1冊 車両ごとのデータ や 再発行手続き方法など
- 本体型紙 1セット このキットは 2 枚
- シール紙型紙 1枚
-

2.キット組み立てに必要なもの

このキットを組み立てるのに必要だと思われる主な鉄道専用部品を列挙してみました。

*一般部品や工具等については共通説明書の「2.キット組み立てに必要なもの」の章をご覧ください。

分類	タヴァサ	銀河	GM	KATO
台車	-	-	TR47	TR47
貫通ホロ	-	-	貫通ホロ-黒	ホロ(黒) 5010
ベンチレータ	-	-	-	-
床下機器	-	-	一般型客車用	-
ハシゴ	-	-	-	-
テールライト	-	-	-	-

3.実車について

マイネ 40 は戦後初の 1 等寝台車で、1955 年1等寝台車の廃止により 2 等寝台車マロネ 40 となりました(1960 年の三等級制廃止で再び 1 等寝台車に返り咲き、1969 年のモノクラス化で A 寝台車になる)。1955 年頃改装され前位側のデッキを撤去を伴う改装が施されました。製造当初は全国の主要路線で使用されていましたが、後年は対九州路線で主に使用され 1970 年までに形式消滅。現在は事業車オヤ 41 に改造されていた車両を復原の上、佐久間レールパークと碓氷峠鉄道文化むらに各 1 両保存されています。

製造両数 ‥ 21 両
製造初年 ‥ 1948 年(昭和 23)
定員 ‥ 寝台:22 人 座席:41 人
台車 ‥ 1948～ TR34 (模型は TR23 で代用)
1949～ TR40 (模型は TR47 で代用)

4.模型の製作

● 部品名称表

本体型紙とシール型紙の部品番号と部品名の表です。製作の参考にしてください。

本体型紙

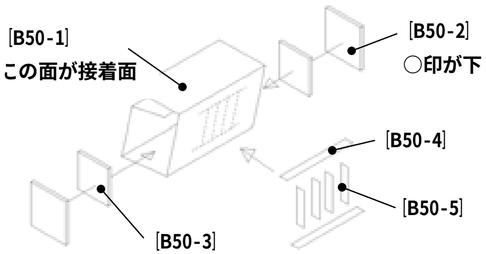
番号	名称
B 1	側板外板･屋根板
B 2	側板内板
B 3	-
B 4	縦雨樋
B 5	窓枠
B 6	妻板
B 7	妻板
B 8	デッキ仕切板
B 9	デッキ扉
B10	デッキ扉
B11	-
B12	-
B13	ステップ
B14	扉補強
B15	-
B16	-
B17	-
B18	スペーサ
B19	中屋根
B20	横雨樋

シール型紙

番号	名称
S 1	横雨樋 他
S 2	ウインドウ･ヘッダ
S 3	ウインドウ･シル
S 4	デッキ扉
S 5	号車札入れ
S 6	サボ入れ
S 7	標識灯掛け
S 8	銘板
S 9	デッキ仕切扉
S10	-
S11	-
S12	扉上行灯
S13	-
S14	屋根クーラ蓋
S15	-
S16	-
S17	-
S18	-
S19	-
S20	-

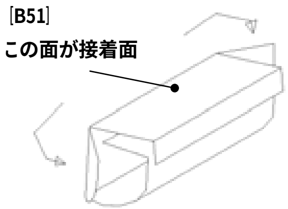
● 床下機器の組み立て

[B50]





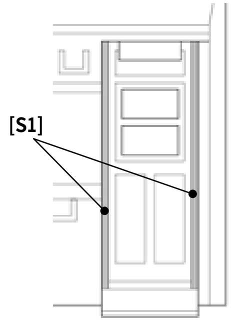
[B51]



完成写真を参考に
[S2] を巻きつける



● 仕上げ



1.妻板に [B4] を取り付ける。(両デッキを再現する場合は不要)

2.デッキ扉脇に [S1] を貼り付ける。(右図灰色部分)

3.側板と屋根の境の点線に沿って [B20] を取り付ける。

(両デッキタイプは扉上のみ[B20]それ以外は[S1])

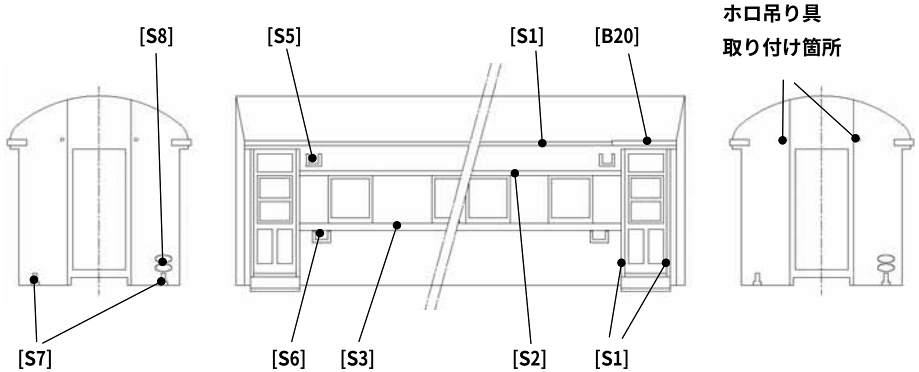
4.窓上辺の点線に沿って [S2] 、窓下辺は [S3] を貼り付ける。

5.妻板に [S7] と [S8] を貼り付ける。

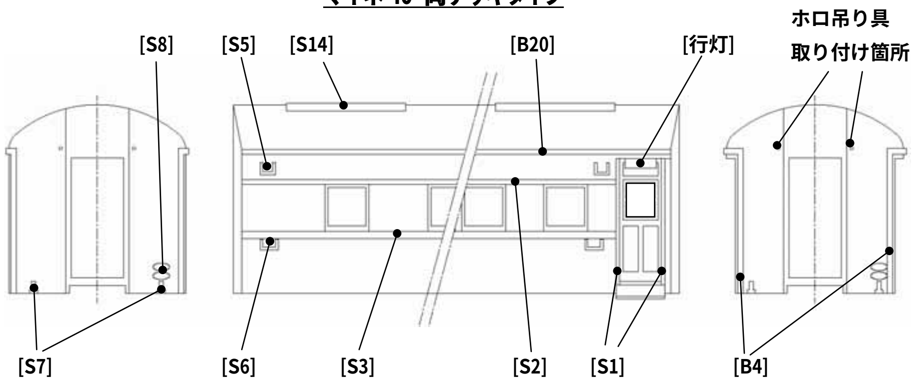
6.扉脇に [S5] と [S6] を貼り付ける。

7.屋根上の点線を参考に [S14] を貼り付ける。(両デッキを再現する場合は不要)

8.ホロ吊り具をφ0.3 の真ちゅう線で作成して取り付ける(上級者向け)



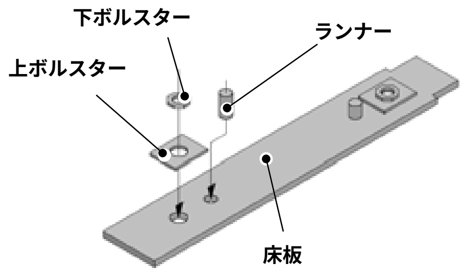
マイネ 40 両デッキタイプ



マイネ 40 片デッキタイプ

● 床板

1.床板部品は巻末の床下参考図を見て作ってください。
(GM 製の床板利用の場合は不要です、ただし組み立てるときにオモリドメを使用しないで下さい。)
2.下図を参考にボルスターを作ってください。(床板は 1.2mm、他は 0.5mm 厚のプラ版で製作)
KATO のビスタイプ台車を取り付ける場合はボルスターに京商エバーグリーンのパイプ(直径 3.2mm/外径 3.18mm/内径 1.75mm)を取り付けます。
3.巻末の床下機器レイアウト図を参考に床下機器の配置してください。



● 塗装から完成まで

1.サーフェーサーで下塗りをする
2.毛羽立ちなどを紙やすりで処理する
3.再度下塗り(納得が行くまで 1～3 の繰り返し)
4.本塗り　内装 → 帯(幅 1mm) → 車体 → 屋根　の順がオススメ

	1948年 昭和23	1955年 昭和30	1959年 昭和34	1961年 昭和36	1969年 昭和44
形式	マイネ40	マロネ40			
デッキ	両デッキ	片デッキ			
内装	クリーム				
帯	クリーム	青		淡緑	無し
車体	ぶどう1号		ぶどう2号		
屋根	ダークグレー	灰色9号			
備考	製造初年	2等寝台化 車内改装		1960年 1等寝台車化	A寝台車化

*青は青 22 号で代用
*クリームはクリーム 1 号で代用

5.巻末のレタリング参考図を参考にインレタを付ける。
6.貫通ホロを取り付ける。
7.窓セルを貼り付ける。
4.床下とドッキング
5.完成！

お疲れ様でした

4. 型紙の再発行手続き

本キットに含まれている型紙を万が一切り損じた場合や、もう 1 両作ってみたいと思っている方のために再発行サービスを行っています。再発行ができるのは**本体型紙**及び**シール型紙のみ**（説明書類は再発行致しません)を再発行致します。

メールまたは、往復はがきで下記の再発行申し込み記入事項をすべて記入の上、下記の宛先までお知らせください。折り返し連絡致します。型紙の再発行手数料は**送料込み 1 枚 250 円**(本体価格 238 円)です。

再発行申し込み記入事項

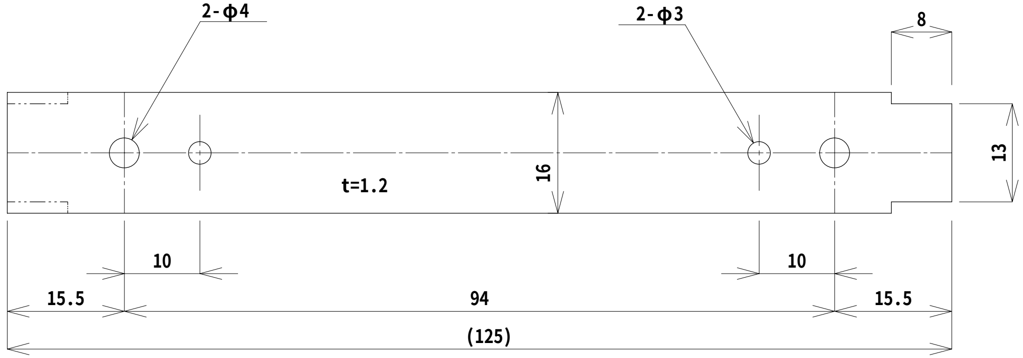
・氏名
・電話番号
・郵便番号
・住所
・希望する型紙の図面名とその枚数

宛先

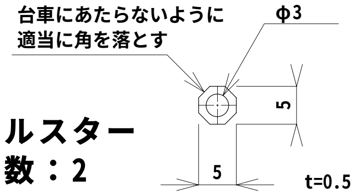
メール：
はがき：
メールまたは、有料説明書にてご案内しております。

注意 ・振り込み手数料及びはがき代は御負担願います。
・理由の如何に関わらず誤って入金されても返金は一切致しません。
・輸送事故以外の理由における型紙の交換は一切受け付けません。
・購入されていないキットの型紙は再発行できません。

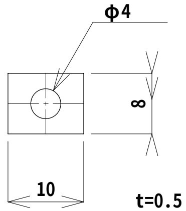
著作製作：にぃどる ぶっく
- 平成 17 年 2 月 10 日 第 2 版発行 -



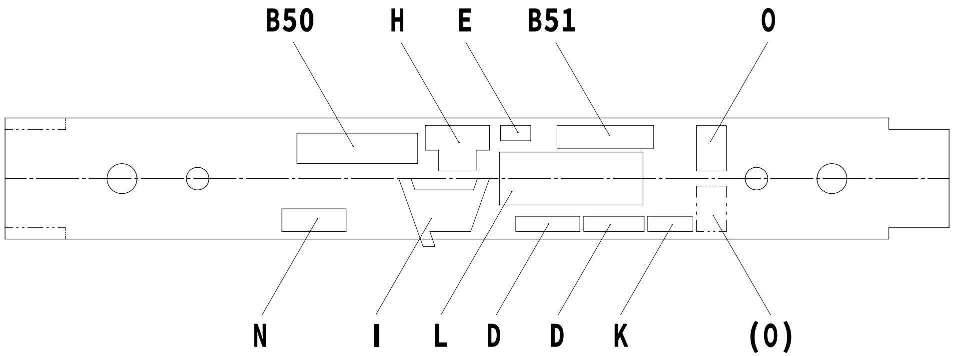
床板　必要数：1



下ボルスター
必要数：2



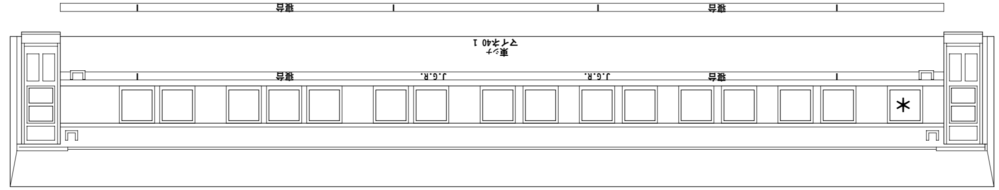
上ボルスター
必要数：2

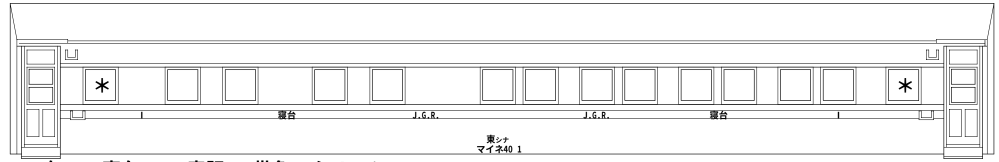


床下機器レイアウト

*B50,B51は自作床下機器です。詳しくはP.3をご覧下さい。

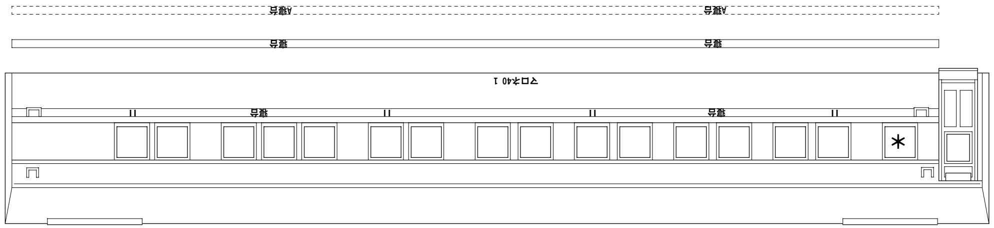
マイネ40　床下参考図

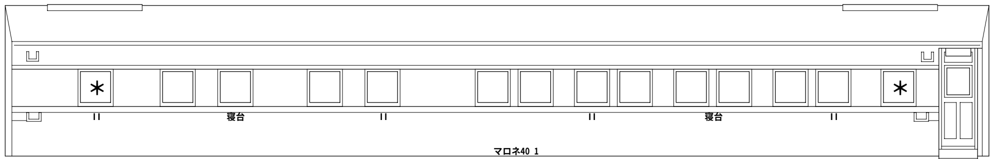




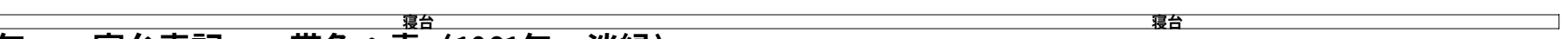
1948年〜　寝台+JGR 表記　帯色：クリーム

195?年〜　寝台+I 表記　帯色：クリーム





1955年〜　寝台+II表記　帯色：青



1959年〜　寝台表記　帯色：青（1961年〜淡緑）

1969年〜　A寝台表記　帯色：無し

*文字色はすべて白、ただしクリームと淡緑帯上の文字は黒
*「＊」のある窓は曇りガラス、もしくは白ガラス

マイネ40　レタリング参考図